

【速報3】「2026年ベネズエラ地震救援金」の募集を開始

日本赤十字社は、現地時間 2026年6月24日に南米ベネズエラ中北部で発生したマグニチュード 7.2 および 7.5 の地震被害による人道危機を受け、本日 2026年6月30日(火)より、「[2026年ベネズエラ地震救援金](#)」の受け付けを開始いたしました。皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。



負傷者の応急手当にあたるベネズエラ赤十字社のスタッフ©VRC

[速報2](#)でお伝えしたとおり、現地では、電力や水、医療などのインフラ被害が広がっており、多くの住民が緊急の人道支援を必要としています。

被害は7つの州に及び、多くの住宅を含む建物が倒壊・損壊しました。特にラ・グアイラ州および首都カラカスで深刻な被害が報告されています。死者や負傷者の数は増え続けており、現地当局によると、この地震により少なくとも1,719人が死亡、約5,000人が負傷しています(6月29日時点、IOM発表¹⁾)。

余震も続く中、政府は国家非常事態を宣言し、学校の授業および不要不急の活動を停止するとともに、予防的避難の実施、捜索・救助活動の開始、ならびに被災者向けの受け入れセンターの設置を行っています。

こうした中、ベネズエラ赤十字社は全国のネットワークを生かし、負傷者への応急手当や家族再会支援、給水・衛生支援などを実施しています。さらに、国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)や赤十字国際委員会(ICRC)、日本赤十字社を含む各国赤十字・赤新月社がベネズエラ赤十字社と連携し、医療体制の強化や救援物資の輸送、通信体制の整備を進めるなど、国際的な協力のもとで人命救助と被災者支援を展開しています。

¹ [Situation Report #2 \(29 June 2026\) Venezuela Earthquake Response IOM](#)



【動画】 [ベネズエラ赤十字社がラ・グアイラ州に設置したテント型の仮設病院](#)©IFRC



ラ・グアイラ州の仮設病院で、負傷者の応急処置を行うベネズエラ赤十字社©IFRC



被災地の状況調査を行い、支援調整を行うIFRCの専門スタッフチーム©IFRC



メキシコ赤十字社の捜索・救助隊チーム©IFRC

「2026年ベネズエラ地震救援金」

受付期間：令和8（2026）年6月30日（火）～令和8（2026）年9月30日（水）
使途：国際赤十字・赤新月社連盟（IFRC）、赤十字国際委員会（ICRC）、ベネズエラ赤十字社、および日本赤十字社が行う、被災者への救援・復興支援活動および防災・減災活動などに充てられます。

[「2026年ベネズエラ地震救援金」へのご寄付はこちら](#)



メールマガジン『赤十字国際ニュース』

赤十字が世界中で行っている人道支援活動の最前線と、それをとりまく最新ニュースをメールでお届けします。
メールマガジンへの登録は、左の画像をクリックしていただくか、二次元コードを読み込んでいただいた先の登録フォームからお願いいたします。

